



町政を問う

質問者



岡井 馨一郎 議員

問

北黒田海岸線の整備計画は

昨年我が国に上陸した台風は、10個を数え、県内でも相当な被害が出て、当町の海岸線も決壊寸前の状態となりました。14年前の平成3年9月末に、台風19号が通過し堤防が決壊して、北黒田から伊予市新川まで水没し、家屋、農産物等に多大の被害が出ました。

伊予市側は1年余りで、立派な堤防ができましたが、松前町側は未だ改修されておりません。国・県へ強く働きかけ早く堤防の改修ができるようお願いいたします。尚、いくつか項目を挙げお尋ねします。見える形で回答をお願いします。

- * 台風19号被害で復旧に要した費用は。
- * 不法占拠と言われる構造物、

その業者の数は。

* 不法占拠に対する県・町の指導、立ち退き要請について過去何度くらい行ったのか。占拠されている年数は。

* 最近県を含めて話し合いが持たれたと聞きましたがその結果は。

* もしこの海岸線が決壊し、農作物、家屋等々に被害が出ればその対応は。

答

整備検討委員会を立ち上げ
答弁 白石町長

台風19号による被害総額はおおむね1億7,500万円です。

不法占拠の状況は、当該海浜地に水産加工場7軒、漁具倉庫3軒及びスクラップ置場1軒存在しています。

これらの不法占拠に対する立退き要請は、海岸管理者である愛媛県が、文書で平成2年から25回撤去の指示を出しているとのこと。

占拠年数は、ほぼ50年以上となっています。

愛媛県と松前町が協力して松前町北黒田海岸整備検討委員会を立ち上げ、現地におい

て建物の調査や聞き取りを行い、その後第1回の説明会を実施しました。今後移転について納得が早く得られるよう努力します。

万が一災害が発生した場合の補償は当海岸の管理者及び海岸整備の事業主体はあくまでも県であり、災害が発生した場合の補償については不明です。



北黒田海岸

問

岡本太郎画伯の巨大壁画の展示について

愛媛新聞6月7日付にて掲載された巨大壁画を当町で借上げ展示することを考えたかどうかでしょうか。世界的な画家岡本太郎氏の作品です。大型商業施設ができるので集客にも、全国的に松前町を売り出すにも良いと思います。

答

一つの考えとして受け止め
答弁 白石町長

岡本太郎画伯の壁画は新聞報道でしかわかりませんが、東温市で修復作業をし、その後の展示場所については、白紙状態です。非常に大きな作品であり、移送や修復に数億円の費用がかかります。町としては、なかなかコメントできる状況ではありませんが、夢として考えてもいいかなという気はします。